

第3回千葉市新基本計画審議会第1部会 議事要旨

- 1 日 時 令和4年1月17日（月）14時30分～16時30分
- 2 場 所 オークラ千葉ホテル 2階 「ブリストル」
千葉市中央区中央港1-13-3
- 3 参加者 《委員》16名（五十音順）
秋田 典子委員、秋元 裕子委員、浅野 幸子委員、石河 勲委員、市田 誠委員、
加藤 康幸委員、倉阪 秀史委員、島田 利美委員、鈴木 雅之委員、高梨 園子委員、
轟 朝幸委員、中島 陽一委員、松永 哲也委員、森川 博之委員、渡部 茂樹委員、
渡邊 真由委員
（欠席者 近藤 利砂委員、細田 美和子委員）
《事務局》13名
峯村総務局長、山田総務局次長、那須危機管理監、神崎総合政策局長、米満財政局長、
稲生市民局長、松戸環境局長、加瀬経済農政局長、竹本都市局次長、
野村建設局次長・水道局長、中村消防局長、堺総合政策部長、濠岡政策企画課長

4 議 題

- (1) 千葉市基本計画（原案）分野別計画について
（「環境・自然」、「安全・安心」、「都市・交通」、「地域経済」）
- (2) 分野別計画に対する答申（案）について
（「環境・自然」、「安全・安心」、「都市・交通」、「地域経済」）
- (3) その他

5 議事概要

- (1) 千葉市基本計画（原案）分野別計画について
（「環境・自然」、「安全・安心」、「都市・交通」、「地域経済」）
前回部会における意見への対応の方向性について、事務局より説明を行った。
- (2) 分野別計画に対する答申（案）について
（「環境・自然」、「安全・安心」、「都市・交通」、「地域経済」）
分野別計画に対する答申（案）について、事務局より説明を行った。
- (3) その他
今後の開催スケジュール・議事録の確定方法について、事務局より説明を行った。

6 会議経過

～以下、議事要旨～

議題（１）分野別計画に対する答申（案）について

（「環境・自然」、「安全・安心」、「都市・交通」、「地域経済」）

（事務局）前回部会における意見への対応の方向性について、資料１及び資料２をもとに、事務局より説明を行った。

<意見交換>

特に意見なし。

議題（２）分野別計画に対する答申（案）について

（「環境・自然」、「安全・安心」、「都市・交通」、「地域経済」）

（事務局）分野別計画に対する答申（案）について、資料３をもとに、事務局より説明を行った。

<意見交換>

松永副部長

２点お伝えしたいことがあります。

１点目は、１（６）に「平易かつ適切な文章を用い、市民にとって分かりやすい記述」と記載いただいておりますが、３（１）の「レジリエンス」という言葉が、市民にとって平易な単語となっているか検討する必要があると思います。もちろん、日本語に訳すと、復元性や復元力、再現力、しなやかさといった色々な訳し方があり、訳し方が難しいためにレジリエンスという言葉にしていると思います。ただ、レジリエンスという言葉自体が市民にとって分かりやすい記述になっているか疑問のため、もう一度言い換えができないか検討していただければと思います。

もう１点は、答申案の５分野８「地域経済」に、東京圏における主要都市であることを明記していただきありがとうございます。首都圏という言葉もありますが、東京圏とは定義が異なりますので、第１部会としては、東京圏という言葉で統一したほうが良いかと思います。

浅野委員

経済分野における女性の参画に関して、前回意見を申し上げさせていただきましたが、検討結果は、性別や障害の有無にかかわらず、多様な人々が活躍できるようにという形で修正案を出していただきました。それでも良いかなと思うのですが、それぐらいの危機感なのかと残念なところもあります。多様の中でも、女性活躍推進を政府としても力を入れているところであり、私自身、防災分野においても、マジョリティでありながらもマイノリティに置かれている女性が活躍できないと、それ以外の人たちもなかなか活躍できないのではという思いがあります。そういう中で、私には少し弱含みに、多様という形で含めてしまっても良いのかなと思うところです。

轟部長

情報化やテクノロジーについて、これまでも話をしていますが、この分野は各分野共通のところにあっても良いと感じています。それぞれのところには出てきていますが、言ってみればインフラのような形に思っているところであり、共通的な事項として検討いただければと思います。

堺総合政策部長

まず分かりやすさという中で、レジリエンスという言葉を挙げていただきました。現状の分野別計画には記載がないのですが、総論に記載があります。これまでも実は、悩みながらこの言葉を使い続けているところであり、他に言葉が見当たらないという中でありましたが、もう一度言い換えができないか検討させていただきます。

また、東京圏という言葉について、今回の議論では、東京圏が相応しいと思いつ

ておりますので、この後も、東京圏を使用したいと考えています。

次に、女性参画、多様性については、元々、総論の戦略的視点として幅広く網を掛けるような形で記載しています。また、第1部会の議論ではありませんが、「地域社会」の中で、どのように男女共同参画、女性の活躍を位置付けるかについて、第2部会でもかなり議論をいただき、修正をしてきているところです。そういった中で、地域経済の部分は、少し弱含みであるというご指摘でありましたが、一方で、多様な視点から色々な方に活躍いただくということもあり、現状の記載としています。実際取組の中で、そこはしっかりとやらせていただきたいと思います。

最後に、轟先生からいただいた、テクノロジーについて、どこまで答申上で横串を刺すのかという点については、全体としてまとめ上げる中で、どのような記載が相応しいか検討したいと思います。

渡部委員

答申案の5分野8(2)ウ(イ)について、10年先・20年先の基本計画という観点からすると、コロナ禍というよりは、感染症蔓延期や新たな感染症対策などとした方が良いのではという感じがします。

また、人口減少下における持続的発展というものが全体的に流れていることは非常に良いと感じています。

倉阪委員

脱炭素化の先行地域の募集が始まっており、これは環境部局の課題だけではなく、産業振興、農林、都市計画など様々な部局が一体となって関係する事項だと思います。あえてここで話をさせていただくと、ぜひ千葉市からも脱炭素先行地域として、2030に向けた取組みを進めていただければと思います。

中島委員

最初の原案では、区ごとの特色を打ち出すことが大きな柱としてあったかと思いますが、各分野で見ると、美浜区や中央区に関しては記載がありますが、緑区についてはどこにあるのか少しぼやけてしまったように感じています。ただ、農業の振興などそういったところで少しずつ関わってくるのかなと思います。

渡邊委員

答申案に関しては、よくまとめられていて、意見も反映いただき本当にありがとうございます。あとは、千葉市らしさというものを、もう少し伝わるような表現にさせていただけると、より千葉市独自の基本計画というものに近づけるのではないかと感じました。

市田委員

私は、企業の人間であるため、地域経済の辺りではかなり意見を言わせていただきましたが、すごく反映をしていただけてありがとうございます。これ以上特に意見はありませんが、これからもっと言葉を選びながら市民により伝わりやすく、また、千葉市としての目玉は何かを強く考えていきたいです。千葉市は県庁所在地であり、幕張メッセがあり、海や山や川もある。そして、優秀な大学や私立の学校などがあり、数年前にはレッドブルのような日本で唯一のレースができるなど、千葉市民としてすごく誇れるものだと思いますので、これを前面に出したいところです。

私も団塊ジュニアの世代で、あと10年後には60歳くらいになりますが、その下の世代、よくZ世代と言われていますが、20代などの方たちが、わくわくするような未来志向のものをつくっていったらと思っています。

秋元委員

前回の会議でも申し上げましたが、千葉ならではのというのが、もう少し市民に具体的に分かりやすく表現できると良いと思っています。前回の意見を踏まえて検討されているということなので、それが決まると、またこちらに反映されると思って聞いておりました。

また、副部会長と同様に、レジリエンスという言葉についてですが、いま私自身も

調べて理解しましたが、市民の方が見て分からないから外すというよりも、分からない言葉を市民が調べて学ぶということも大事なのかなと思います。そのため、必要な文言であれば、残すのも一つの考え方ではないかと思っています。

次に、答申案3の分野2(4)ア(ア)について、ドメスティック・バイオレンスという言葉に少し違和感を持ちました。昔に使われた言葉で、女性に対するというイメージが強くあり、最近では、祖父母などの高齢者に対する虐待もあるのではないかと読んでいました。恐らく、子どもの虐待については、第2部会の分野に入っていると思うのですが、もし何かドメスティック・バイオレンスについて知識のある方がいましたら、教えていただきたいと思っています。

石河委員

雇用の創出の場についてお伝えします。

以前の会議でも話したように、千葉市に住み、千葉市で働いている人の割合が50%というのは、関東近辺にしてはすごく高いと思っています。そのため、近場でお勤めをして、そのまますぐ家に帰る方が多いというのは、その特性だと思っています。その特性をもう少し活かせるように、これからテレワーク等々が増えてくるとはいえ、やはり働く場を提供していくことが重要です。

そのために一つのキーとなるのが、幕張新都心の今後のあり方について、この10年間で考えていかなければならない課題だと思っています。このまま中途半端にとっては失礼ですが、元々企業を誘致するつもりが、できていないところをどうするのか、例えば物流センターのようなものをつくるのか、そういったことを県や関連省庁と話していただき、今後の幕張新都心のあり方の一つとして、雇用を生むということを考えていただければと思います。

高梨委員

千葉県の方でも新基本計画を策定中だと思いますが、特に政令指定都市の千葉市においては、県と関連する重要な項目もあると思います。そういう意味で、重要な部分については取り入れていただきたいと思っています。

また、計画の原案について非常に良い形で作り上げたとしても、それを市民の方が理解されて、実行し、実現することが重要です。また、取り組んだ後の評価についても、千葉県には3年の重点項目もあったかと思いますが、遅れているものは早めにリカバリーすることが重要かと思っています。

島田委員

安全・安心の部分で、市民にどのように参画して欲しいのかを明確にする必要があると思います。また、情報発信の部分は非常に重要なため、市民への情報発信のあり方を検討していただければと思います。

言い換えれば、この安全・安心の部分については、警察のみでは成りえず、一番は市民の協力が必要であるということ認識していただければと思います。

鈴木委員

私の観点としては、もう少し攻めた方が良いという形で意見をさせていただきました。先ほど会長が言われましたように、平坦になってくるというのは結果だと思いますので、これから下位の計画に落とし込んでいく中で、攻める戦略のような形で進めていただければと思います。

加藤委員

里山や古民家という文面が入っている中で、食文化とか、伝統文化といったものが千葉市にもまだ残っていると思います。それを教育し、未来に繋げていく方策があれば良いと思います。これは千葉市ならではの点で、ぜひ入れていただくと良いと思いました。

堺総合政策部長

答申案の中で、コロナ禍、ドメスティック・バイオレンスなどいくつか言葉が適切

に状況を表しているかというご意見については、レジリエンスと同様に、宿題とさせていただきます。ドメスティック・バイオレンスは対象が限定されるかと思われるため、そこを含めて検討します。

倉阪委員から脱炭素化先行地域の話があり、非常に強く背中を押していただいたと思っております。全庁的な視点から取組を検討していきます。

中島委員の区ごとの取組があまり見えないというご意見については、計画のつくりによるところがあり、総論の中で、区としてやっていくことを位置付けた中で、分野別計画では、あまり具体的な箇所付けはせず、10年間でやっていくことを見たときに、区に落とされていくというようにつくっています。その結果、直接的に見えづらいう課題がありますが、3年間の実施計画等の中では、より具体的に分解して展開していきたいと考えています。その辺りは、目玉は何かといったご意見、高梨委員からありました、もう少し短期の取組といったご意見についても、実施計画の中でより具体的に見える化を図っていきます。

幕張の今後のあり方が課題であるというご意見については、我々も課題認識を持ち、現在、ビジョンの策定を進めているところでありますので、今後の展開に繋げていきたいと考えています。

また、複数の委員から、市民に伝わる、あるいは市民に参画いただく重要性を指摘いただいていると思っております。当然、これから具体的な取組を展開するに当たっては、全庁的に共通認識を持ち、市民との連携を深めていくことになると思っておりますが、まずは来年度、この計画をどのように市民に見ていただけるかについて、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。

攻めるという部分については、実施計画等の中で具体的にするとともに、総合戦略を統合するに当たり、基本目標、KPI、政策評価を考えていかなければならないと思っております。そういう中でしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

最後に、加藤委員からいただいた、食に関する教育など伝統や文化的な部分も含めた教育については、具体的に記載はできていないのですが、千葉市ならではの地域資源を教育に活かしてはどうかという意見の中で、主な取組を追加することで検討させていただいております。その中の1一つとして、より具体的な取組を深めていきたいと考えています。

浅野委員

まず、防災において、レジリエンスという言葉の訳はなかなか難しい状況に陥っており、国がそもそも国土強靱化という、むしろ逆ではないかと勘違いされるような訳を出しています。ハード対策重視になりかねない訳を出していることもあり、難しい状況なのかなと思っておりますので、少なくとも国土強靱化という訳にはならないようにしていただければと思います。そのまま載せるのか、何か解説をつけるのか、別の訳をするのか、少し工夫していただければと思います。

また、DVについては、児童虐待や介護虐待など、様々な形で暴力の問題が起きているため、そういう中でDVを特化して取り挙げるのはどうかというご意見だったかと思っております。DV防止法もあり、男女間の親密な関係の中での暴力が、結局は児童虐待や介護虐待にもかなり根深く繋がっていると思っております。DVが起きていると、児童虐待もかなりの割合で起きているため、DVの問題はしっかりと取り挙げる必要があると思っております。最近、中高生など若い方のデートDVなどの問題もあり、かなり啓発もされるようになってきているため、そこはしっかりと取り組んでいただきたい

と思います。

一方で、介護虐待、児童虐待、DV であれ、縦割りで対応して良いのかという話があります。先日、東北の被災地の自治体をインタビューしたのですが、災害を通して、虐待の問題が悪化・顕在化する中で、虐待防止センターを庁内に立ち上げて、児童、福祉、男女共同参画、教育委員会や地域も含め、庁内の縦割りを排して暴力問題に取り組む仕組みをつくっています。これは素晴らしい取組みだと思いますし、今後は総合的に取り組んでいく観点も必要であると思いました。そういった対策は、防災分野でも取り入れることができる、まさにレジリエンスの一つであると思っています。

堺総合政策部長

インタビューの事例も含めて貴重なご意見を賜ったと思っています。言葉の選び方、また、今後の虐待対応について、具体的な取組に対するご意見として参考とさせていただきますと思います。

森川委員

2点ほどお伝えさせてください。

今回、議論の内容に関しては、特に違和感はありません。

まず1点目は、千葉市から新たな事業の創出という視点はもちろんのこと、外資誘致についても頭の片隅に入れておいていただけると良いと思います。霞が関でもそうですが、日本企業のグローバル化に視点が相対的に強くなりがちで、外資誘致も雇用・税収の面で大切だと思っています。

2点目は、生産性の向上や価値創造に当たっては、デジタルが一丁目一番地であると認識しています。部会長からも指摘のとおり、すべての分野のインフラとなるのがデジタルです。ただ、少し気にしているのが、世の中でデジタル人材が必要と言われているが、技術を深く理解している人材、例えば人工知能や深層学習、数学の統計も分かる人材といったイメージが持たれています。もちろんそういった人も必要ではありますが、一番重要なのは、技術を深く理解するのではなく、その雰囲気だけを理解していただくことであり、そういった方々がいることで、仕事をしている中で気付きがあり、それがデジタルの起点になると思います。

デジタルの雰囲気あるいは相関という概念を分かっているだけでも、色々な気付きがあるため、デジタル人材を幅広く捉え、デジタル社会人材といったような形で、市役所の方は全員、市民も全員がデジタル社会人材になるという意識でデジタルを温かく見守っていただき、必要であれば意識改革もお願いできればと思います。

堺総合政策部長

2点、貴重なご意見をいただいたと思っています。

当然、雇用については重要ということで、この計画でも位置付けをしているところですが、特に新事業、外資も含めてということで、今後、経済施策の中でしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

また、2点目のデジタル化の話について、私自身も高度に理解することは非常に難しいという中で、雰囲気だけということも、一つのハードルになると思っています。庁内もそうですが、市民の方に対しても非常に大きなテーマとして、しっかり取り組んでいきたいと考えています。

議題（3）その他

（事務局）今後の開催スケジュール・議事録の確定方法について、事務局より説明を行った。

特に意見なし。

—閉会—